

TAC・W セミナー 2021・2022 年度合格目標

国家総合職内定者アドバイザーホームルーム

第 1 回『秋の使い方徹底解説』

10月27日（火）早稲田校・11月06日（金）渋谷校・11月10日（火）オンライン



【本日の予定】

1. HR とは
2. 内定者アドバイザー（LA）の自己紹介
3. LA の就活スケジュール
4. これからの時間の過ごし方
5. 今後の告知
6. 質疑応答

無断複製（コピー等）・無断転載等を禁じます。

目次

HR とは.....	2
今後の予定.....	3
LA の自己紹介.....	4
LA の就活スケジュール.....	7
秋の使い方	
教養一次合格者向け	24
教養一次合格者の二次対策スケジュール.....	26
春試験受験者向け	28
春試験受験者の 11 月のスケジュール	32
今後の告知	
LA 在籍相談	34
11 月 HR	34

【HR とは】

私たち国家総合職内定者アドバイザー（LA）が皆さんの勉強と官庁訪問対策をサポートする機会です。内定に近づくための6回のHRを用意しています。

基本的に各校舎月一回のペースで開催する予定です。私たち内定者スタッフが就活生だった去年の同じ時期に不安に思っていたことや、欲しかった情報などを徹底的に分かりやすくお伝えしたいと思っています。

途中入場・退出は自由です。日ごろの勉強の息抜きに、小さな悩みを解消するために、内定者にしか分からない話を聞きに、お気軽にご参加ください！

LA に寄せられた質問やその回答についてもその都度このHRで紹介したいと思っていますので、そちらも併せてご利用ください。

【今後の予定】

第1回 HR

「秋の使い方徹底解説」

10/27（火） 17：00～18：00 早稲田校

11/06（金） 17：00～18：00 渋谷校

11/10（火） 18：30～19：30 オンライン

第2回 HR

「勝負の冬！合格者はこう過ごす！」

11/25（水） 17：00～18：00 早稲田校

11/24（火） 17：00～18：00 渋谷校

11/26（木） 18：30～19：30 オンライン

第3回 HR

「あと四か月！民間就活との併願（仮）」

12/17（木） 17：00～18：00 早稲田校

12/14（月） 17：00～18：00 渋谷校

12/22（火） 18：30～19：30 オンライン

第4回 HR

「記述対策と模試活用法・省庁研究のアドバイス（仮）」

日程未定

第5回 HR

「官庁訪問の噂と真実・志望動機カウンセリング（仮）」

日程未定

第6回 HR

「面接カード練習（仮）」

日程未定

（日程・校舎にご注意ください）

【LA の自己紹介】

沖 皐津紀

法務省矯正局/慶應義塾大学法学部法律学科/法律区分

【併願先】警察庁、法務省保護局

【訪問先】①警察庁②法務省矯正局・保護局

【講座】法律 1.5 本科生（ビデオブースで受講）

【専攻】刑事政策・被害者学

【得意科目】民法、行政法

【苦手科目】数的処理、国際法

【しておいて良かったこと】記述答練、官庁訪問ゼミの受講

【メッセージ】

長い道のりですが、初心を忘れずひたむきに努力し続けることが合格及び内定の鍵だと思います。試験、面接対策ともに、不安なことなど何でも LA にご相談ください。



尾崎 弘彬

外務省/慶應義塾大学経済学部/教養区分

【併願先】財務省・経済産業省・広告・総合商社等

【訪問先】①外務省②経済産業省③財務省

【講座】経済本科生

【専攻】公共経済学

【得意科目】数的処理

【苦手科目】自然科学（勉強すらしませんでした）

【しておいて良かったこと】業務説明会への参加、模擬企画提案（教養区分）

【メッセージ】

国家総合職採用に内定するまでに間違いなく6回は心が折れることがあると思いますが諦めずに頑張ってください！何でも私ども LA に話してみてください！ちょうど座談会も6回あります!!



鈴木 悠花

出入国在留管理庁/国際基督教大学/政治・国際区分

【併願先】外務省

【訪問先】①外務省 ②出入国在留管理庁

【講座】政治・国際２年本科生

【専攻】カルチュラルスタディーズ

【得意科目】政治学，国際法

【苦手科目】行政学

【しておいて良かったこと】民間企業や他省庁への説明会参加，官庁訪問ゼミ

【メッセージ】

TACに入会したが，自分が国家公務員になれるのか不安。そんなこともあると思いますが，１人で抱え込まず，LAに相談してみてください。みなさんと各回お会いできることを楽しみにしています！



中村 美理

防衛省/上智大学 法学部/教養区分

【併願先】外務省・日系メーカー・マスコミ

【訪問先】①防衛省 ②外務省

【講座】本科生・官庁訪問対策ゼミ

【専攻】国際法

【得意科目】憲法

【苦手科目】数的処理

【しておいて良かったこと】

様々な省庁の説明会やインターンへの参加，TAC生との教養区分対策

【メッセージ】

国家総合職試験合格・そして内定を頂くまでの過程では，悩みや迷いが生じることがたくさんあると思います。私自身も，思ったように勉強が進まず焦ったり，将来の進路選択に悩んだりする機会が多くありました。皆さんが困難を乗り越えて最後まで自分の力を出し切ることができるよう，LAも全力でサポートします。少しでも皆さんのお役に立てるよう私も頑張りますので，どうぞよろしくお願いします！



守安 剛崇

外務省/早稲田大学 政治経済学部経済学科/経済区分

【併願先】財務省・国土交通省・JBIC

【訪問先】①外務省 ②財務省 ③国土交通省

【講座】経済本科生

【専攻】開発経済学

【得意科目】数的処理・経済理論・統計学・計量経済学

【苦手科目】自然・人文科学・法律(全く勉強していません笑)

【しておいて良かったこと】説明会への参加・早めの数的処理・経済基礎の演習

【メッセージ】

様々なことがあると思いますが、戦略立ててコツコツと続ければ、自然と合格が見えてきます。皆さんが自信を持って就活に挑めるよう、全力でサポートするので、他愛のないお話しでもなんでも、私たち LA を使いまわしてください！(笑)



山内 健輔

国土交通省/早稲田大学 人間科学部/法律区分

【併願先】シンクタンク・重工業メーカー

【訪問先】①国土交通省②なし③なし

【講座】法律本科生

【専攻】格差社会学

【得意科目】憲法・行政法

【苦手科目】数的処理

【しておいて良かったこと】生講義、次回までに過去問を解くこと

【メッセージ】

みなさんが抱えている悩みは、私たち内定者が感じてきた悩みであり、解決してきた悩みでもあります。みなさんの試験・官庁訪問攻略を全力で応援させていただきます！



【LA の就活スケジュール】

沖 皐津紀…『試験対策と面接対策の両立の大切さ』

時期	活動内容など	具体的行動など
2年 11月	TAC 入会	8月に参加した TAC 主催の説明会がきっかけで、国家総合職を目指すことを決意。部活動がオフ期間に入るタイミングで法律 1.5 本科コースに入会する。
12～3月	数的処理、憲法の受講	主要科目は早めに対策しておこうと思い、左記の 2 科目は一通り受講。ただ復習をあまりできず全然定着していなかった。
3年 4～8月	数的処理 2 周目、文章理解等	部活動にアルバイトとそこそこ忙しかったため週 1 ペースでしか受講が進まず。
9月	女子学生霞ヶ関 インターンシップに参加 教養区分受験	5 日間、内閣人事局主催のインターンに参加(法務省、警察庁の 2 省庁に伺った)。ゼミの発表が 10 月の頭にあり、この時期はその準備に多くの時間を割いてしまう。さらに復習が不十分だったこともあって、教養区分では大失敗をしてしまった。
10月	専門科目の勉強を本格的に開始	教養区分での反省を踏まえ、春試験で絶対に合格するために、必須科目の民法・行政法から受講を進める。その際、受講し終わったら問題集でその範囲のところは解くようにした。また、この時期から警察庁の説明会に積極的に参加し始めた。

11月～ 12月	専門試験対策に注力 法務省主催のワークショップに参加	演習で結果が振るわなかった民法に関しては、先生の推奨通り、移動時間には必ず授業音声を聞いていた。憲・民・行は年内に問題集2周は回した。選択科目はコマ数の多い国際法を受け始めた。 また、警察庁と法務省でかなり迷っていたこともあり、12月には法務省主催のワークショップに参加した。法務省は説明会をそこまで開催していないので、こちらに参加して色々な経験ができて良かった。
1月	選択科目、記述講義の受講 教養科目の復習を始める	年明けからは国際法の続きと刑法、労働法の受講を進めた。また、2次試験対策もこのあたりから本格的に始めた。数的処理から逃げてしまっていたが、基礎能力模試の結果を踏まえ、教養科目(主に数処と文章理解)を復習し始める。数処に関しては数学が苦手なので、判断推理と資料解釈に絞って対策し、5割採ることを目指すことにした。
2月	記述答練中心の勉強 1回目の択一模試 警察庁冬季インターンに参加	専門記述答練を週3,4ペースで進める。今年度の専門記述試験は実施されなかったが、ここで答練に取り組んで苦手であったり忘れがちだったりするテーマについてしっかり復習することができたので、受講しておいて良かったと思う。 下旬の択一模試では、専門科目でのミスが思ったより多くかなり焦る。教養科目も目標点には程遠く、まだまだ復習が足りないと痛感する。
3月	人事院面接カードを書き始める	官庁訪問ゼミを受講した関係で、この時期から人事院面接カードを書き始めた。本番を意識し、教養科目はようやく1問1問時間を計って取り組むようにし始めた。

4月	一次試験が延期になり 自宅で学習	試験が1か月延期になったことで少し 気が緩んでしまいつつも、やらずにとって おいた数的処理の過去問を週1で模試形 式のようにやることで、それをペースメー カーにして勉強時間をとるようにした。
5月	一次試験の再延期	5月にピークを持ってこられるように勉 強していたが、試験が再延期となってしま いモチベーションを保ちづらくなる。TAC がwebで全講義を受講できるようにして くださったため、もう一度固めておきたい 民法や国際法を見直したり、延期により平 均点が爆上がりするかもしれないという 不安の解消のために人文科目を受講。
6月	事前面談会対策を勉強と並行	6月下旬の事前面談会に備えるため、オ ンライン自主ゼミに各3回ずつ参加し、志 望動機の添削や模擬人事課面接、政策の勉 強などを行った。同じ省庁を目指す仲間と 接点を持つことができて勉強になった。
7月	事前面談会第3タームからの 切り替え 二次試験 官庁訪問	試験前々日の第3タームで警察庁から マッチングしなかったと伝えられ、モチベ ーションがかなり下がってしまったが、こ れまでの努力を無駄にしたくないと思い 頑張って切り替える。1次試験が終わって から息抜きをしすぎたものの、官庁訪問に 備え白書を読んだり自主ゼミで相談し合 ったりと最低限の準備をした。 官庁訪問対策に気をとられ、政策論文対 策をほとんどできずに二次試験を迎える。 案の定手応えがなく、1カ月間不安に駆ら れる。全クール通して特に評価など言われ ず、少し不安を感じたが最後までやりきろ うと改めて思う。
8月	人事院面接 最終面接、内々定	最終合格発表後、矯正局の人事課の方か らお電話を頂く。その後、人事課長との最 終面接があり、ようやく内々定を頂く。

尾崎 弘彬…『もっと余裕持ってやろうね。』

時期	活動内容など	具体的行動など
3年	TAC入会	官僚になりたいと思ってはいたもののこれまで特に何もしてこなかったのですすがにやばいと思って親に頭を下げる
6月	公務員試験の勉強開始	経済本科生で入会したものの経済区分に合格する自信がなかったので教養区分に向けて数的処理の講義を受け始める
7月	省庁夏インターンの応募	外務省のインターンは提出期限が既に過ぎていたので財務省と経産省のインターンに応募し、当選する。
	各省庁の説明会に参加開始	インターンに当選したこともあり各省庁に興味を持ち始め、説明会に参加する。このころ期末テストに追われて教養区分の勉強はほぼできなかった。
8月	夏休み	テニスサークルのキャプテンとしての仕事が忙しく、大学受験ぶりに朝6時に起きる生活を始め、勉強→テニス→勉強→就寝を繰り返す日々。 テニスにかなりの時間を割かなくてはいけなかった ので、できるだけ効率よく勉強することを心掛けた。
	財務省・経産省インターンに参加	始めてインターンに参加し、周りのレベルの高さに圧倒される。同じような省庁を目指す友人ができ、教養区分の勉強のモチベーションが高まる。
9月	ひたすらテニスと勉強	午前テニス、午後勉強の日々をひたすら繰り返す。サークルとゼミの合宿が合計で7日間あり、その期間は全く勉強できなくて絶望。
	教養区分一次試験	一次試験を受ける。前日には家の近くの神社にお参りにいった。 受け終わった感覚では、普通に落ちたと思っていたので絶望。もっと早くから準備すべきだったと後悔。
10月	前半：何もしてません	試験に落ちたと思っていたのでふてくされて怠惰な生活をする。テニスだけはまじめにやる。
	後半：ただただ焦り	まさかの一次合格。なにも準備してなかったので焦って情報収集を始める。インターンでお世話になった財務省の職員の方に相談する。

11月	前半：教養二次対策	某省の職員の方や、慶應で去年教養区分に合格した先輩方に添削してもらいながら面接カードや企画提案試験の対策をする。テニスの仕事はまだ終わっていなかったなので、大学の授業をほぼ無視して8月と同じような生活にもどる。ここでTACの模擬企画提案や模擬人物試験を活用し、合格への自信をつける。
	教養二次	割と自信があったはずの企画提案試験で、文章作成から質疑応答まで4時間も待たされ、思うように力が出せずに絶望。人物と集団討論はある程度の手ごたえがあった。
	後半：遊び	民間就活のやる気も出ず、特に何もせず。説明会すら行かずに友達と旅行に行く。
12月	教養区分合格 民間就活開始	無事に教養区分に合格。外務・財務・経省の説明会はほぼ全てに参加し、OB訪問も始める。（省庁のみ）フライトシミュレーションができると聞いて、パイロットのインターンに応募する。 冬の省庁のインターンにも参加する。
1月	省庁説明会参加	この時期は各省庁の説明会や座談会などが多く開催されるので、毎日のように3省庁の説明会に参加した。某省庁の採用担当と一対一で話し、省庁選びのコツや官庁訪問までの過ごし方について様々なアドバイスを頂き、民間企業を受ける気が無くなる。
2月	1月と同じ	省庁の業務に対する理解がより深まってきた。どの省庁を第一志望にするかは依然として決まらず。 パイロットのインターンにも受かったのにコロナの影響で中止になる。
3月	民間企業の エントリー開始	周りに内定を既に持っている人が増え始め焦る。民間就活も真面目にやっておけばよかったと非常に後悔する。財務省だけインターンがあったので参加する。
4月	民間就活とOB訪問	民間就活が本格化し、色々な企業の面接を受けるも、超有名企業しかエントリーしなかったうえに全く企業研究をしていなかったのが当然のように落ちる。 経産省・外務省の職員の方からzoomなどでOB訪問をさせていただき、政策理解を深めた。まだ第一志望省庁はみつかっていない。

5月	4月と同じ	今更自己分析を始める。商社のOB訪問を通して、やはり国家総合職になりたいと確信。
6月	第1週 大手民間就活	商社等の採用活動が始まるも、撃沈。 準備不足を後悔。
	第2・3週 事前面談会対策	民間就活のことは忘れ、事前面談会・官庁訪問対策を始める。 友人と毎日深夜までES添削や面接練習を行う。
	最終週 事前面談会	1日目から順に外務省、経産省、財務省の順に事前面談会に参加する。第1クールはオンラインでの開催であったが、全ての省庁から非常に高い評価を頂き、とりあえずホッとする。数日後に第2クールが始まり、1日目の評価を受けて2日目以降は辞退する。
7月	官庁訪問	無事外務省から内々定をいただく。就活終了。

鈴木 悠花…『過信しすぎず，自分を信じる。』

時期	活動内容など	具体的行動など
1 年生 9 月	大学 OG の外務省説明会に参加	ICU から国家公務員や外交官が目指せることを体感し，自分も国家公務員を志望することを決意。そのときに OG から大学 2 年生になってからの TAC 入会を勧められる。
2 年生 7 月	TAC 入会	大学が夏休みになり，時間を持て余してしまい，TAC 入会。入ったものの主な講義は 7 月前に終わってしまい，オンラインでしか受講できないことを知り残念だった。
9 月	数処・政治学・憲法に手を付ける	大学が始まると，授業や部活，アルバイトに忙しく，受験勉強をする暇がないことに気づく。大学のお昼休みや部活までの空き時間を使い，少しずつ受講（特に数処）。
12 月	部活の大会シーズン	12 月後半に部活の大会が控えていた。そのため，TAC の授業はほとんどやりっぱなしに。3 年生になり，このときの勉強の仕方を後悔。
1 月	部活のオフ	実家に帰省したり，旅行に行ったり，リフレッシュに使った。
2 月	大学の授業でのフィールドワーク	この頃，東京入管へのフィールドワークや外国人を題材にしたドキュメンタリーを制作。日本で暮らす外国人について深く知ることができた。そしてその苦しさを体感。
3 年生 4 月	部活をケガで早めに引退	引退したため，TAC の授業に本腰を入れ始める。20 年合格目標の授業が始まってからは殆ど全てライブ授業で受講した。
8 月	外務省の説明会等に参加	初めて霞ヶ関に足を踏み入れる。外務省でのキャリアパスに憧れを抱く。
10 月	数処と憲法の復習，専門科目の本格的な受講スタート	数処は 2 回目になり，自分の不得意がよくわかるように。憲法については，自分に合った勉強法を見つけた。

12月	民間企業のインターン参加	国家公務員に元々絞っていたが、他と比較することでさらによく知ることができると思い、民間のインターンに参加（5社ほど）。
1月	模試に向けて計画を立てて勉強	この頃は毎日数処3問ずつ解きながら、専門科目の復習に力を入れた。民間のESに時間をかけることもあった。
2月	外務省のイベントに多く参加、第2回目の模試	国家公務員志望の交友関係を広げる。イベントやゼミでせわしくしていて、模試がひどい結果に。へこむと共に計画を立てて勉強することの重要性を痛感。
3月	論文模試、面接対策、一次試験のラストスパート	論文模試があったが、論述対策は少ししか出来なかった。主に一次の追い上げをした。また、官庁訪問シミュレーションや面接カード制作も始めた。
4月	勉強に打ち込める環境に1か月移住	移住し、勉強や読書を生活のメインに。試験が延期され、勉強のゴールが見えなくなるものの、毎日ルーティンを崩さないように心がけた。
5月	経産省の説明会に参加	国家公務員の面白さを改めて知る。外務省だけが選択肢ではないことに気づき、外交以外の分野にも知見を広げることに楽しさを覚える。
6月	入管は初めての説明会 事前面談会	事前面談会のESに取り掛かる。外務省のESに手こずる。一方入管のESはすらすらかけた。このことから、自分のやりたいことがあるのは入管なのではと思い始めた。結果として、外務省から事前面談会でマッチングを頂けず、入管に絞る。
7月	試験本番	やっと待ちに待った、試験本番。一次試験は自己最高得点で通過し、ポジティブな気持ちで官庁訪問に参加。政策論文では大失敗するが、続いた官庁訪問第2クールでも手ごたえがあった。第3クールでも楽しく会話でき、なんとなく内々定を貰ったつもりで霞が関を後に。
8月	人事院面接、最終合格と内々定	人事院面接は自信があったのに、結構失敗した。しかし最終合格でき、その後幹部面接、内々定までたどり着いた。

中村 美理…「体育会、民間就活と両立して臨んだ 1 年」

時期	活動内容など	具体的行動など
3 年 6 月	TAC 入会	海外留学中に国家公務員を目指すことに決め、帰国直後に TAC に入会。
	公務員試験の勉強開始	講義を受け始める。
7 月	インターン	外務省のインターンに参加。2 週間のインターンを経て、改めて国家公務員を目指そうと決意。
	公務員試験の勉強	教養区分にも挑戦することを決め、基礎能力科目の勉強（特に数的処理）に取り組む。
8 月・9 月	夏休み	週 3～4 回程度の体育会の活動と、試験勉強と、民間企業のインターンを中心に過ごしていた。
	インターン	様々な業界の企業 6 社のインターンに参加した。あまり時間が取れなかったので、1day インターンを中心に参加した。
	教養区分一次試験	久しぶりの試験で緊張して、手応えは全くなかった。切り替えて他の試験科目の勉強を始めた。
10 月	公務員試験の勉強	未受講の法律系講義を web フォローで進めた。
	一次試験合格後	幸運にも一次試験に合格。TAC の一次合格者ホームルームで LA の方や講師の先生方に二次試験の流れについて詳しく教えて頂く。
		TAC 等で知り合った一次試験合格者と一緒に政策課題討議試験や企画提案試験の対策をした。
11 月	二次試験対策	面接カードを添削してもらい、納得がいくまで計 10 回くらい書き直した。また企画提案試験でテーマとなっている白書を読み込んだり、自分なりの考えを練ったりしていた。
	二次試験	1 日目の企画提案試験では、試験官からの質問に思うように答えられなかったところもあり、後悔が残った。政策課題討議試験前が一番緊張したが、練習通りにやろうと心に念じて、なんとか乗り越えることができた。人物試験は落ち着いて話すことができ、手ごたえがあった。

12月	教養区分合格	二次試験後、不安だったが、無事に合格。
	各省庁の説明会	様々な省庁の説明会に参加。この頃から防衛省の説明会に参加。防衛省で働かされている大学の先輩等にもお話を伺い、志望度が高まっていった。
1月		
2月・3月	冬休み	民間企業のインターンや、防衛省・外務省の説明会や政策シミュレーションに参加。2週間に1回外専試験の答練にも参加した。
3月	民間企業の就活	計4社ESを提出し、オンライン面接がはじまる。
	省庁説明会	コロナの影響で対面の説明会が軒並み中止となってしまうので、オンラインの説明会や個別相談会にできるだけ参加した。
4月	民間企業の就活	4月中旬に、早期選考を受けていた1社から内々定を頂き、民間企業の就活を終了。 また、併願先として考えていた外専の受験を辞め、国総の官庁訪問に専念することにした。
	官庁訪問対策	説明会や個別相談などを通して学んだことをまとめて、志望動機を練り始めた。どんなことに将来挑戦したいか、どうしてその省庁に行きたいかを考えて書き起こしての繰り返しだった。
		志望理由などを何度も書き直した。家族・友人やTACの講師の方々に、自分が書いたものを添削してもらったり、それと合わせて面接対策も行った。
5月		
6月		
6月・7月	事前面談会&官庁訪問	1日目に防衛省、2日目に外務省に参加した。面接前はこれまでの人生で一番といっても過言ではないくらいに緊張した。無事に2つの省庁から非常に高い評価を頂いた。とても悩んだが、数日間空いた後の第二ターム以降は防衛省のみを訪問した。
8月	内々定	無事防衛省から内々定の通知を頂き、全ての就活を終えた。

守安 剛崇 …「ペース配分を戦略だてて考えよう」

時期	活動内容など	勉強時間	具体的行動など
3年 8月	TAC入会	3h	留学から帰国後、省庁でのインターンを通して、国家公務員として働きたいという思いが募り、TACに入会することを決めた。
9月	教養区分の勉強	3h	国家総合職試験の流れを把握した後、教養区分の勉強に励んでいたが、自然科学・人文科学が理解できず、数的処理の勉強に専念。 →得意科目に専念して、苦手科目を深追いしなかったのが◎
10月	教養区分一次試験	3h	教養区分一次不合格。もともと自然科学・人文科学対策が出来ていなかったもので、切り替えて①数的処理・文章理解がどこまで通用するかということ、②試験の雰囲気がどんな感じかということ、そして③基礎能力試験の時間配分はどうすればよいかということに集中した。 →結果は駄目だったが、目標を持って取り組みめたので、収穫◎
	教養区分一次試験後	1h	教養区分の結果を受け、数的処理はある程度の実力がついてきていることが分かったので、力を落とさないように継続的に勉強しようと意気込む。
11月	バイト ゼミ合宿の担当 ボランティア団体の活動 経済区分の授業の履修	5h	渋谷校で、理論・統計学の授業を受ける。授業後に先生に質問して、疑問をその都度解消できたのが非常に良かった。 ただ、ゼミの合宿担当・他団体の活動・バイトに忙しく、5時に起きて1時に寝る生活をしており、勉強時間がとれなかった。

			そんな中でも、通学時間(私は 1.5 時間くらいありました)は絶対に勉強すると決めて、隙間時間を有効活用した。 →疑問を後回しにしなかったのは◎、予定を詰め込み過ぎたのは×
12 月	経済理論 ボランティア団体の活動	10h	11 月と同じく、渋谷校で対面の授業を受け、授業後にはしつこく先生に質問した。また、この頃から経済理論の演習問題を解き始め、冬休み期間の勉強スケジュールを綿密に練った。 ただボランティア団体の活動が本格化したため、11 月と同じくそこまで勉強時間に割くことはできなかった。バイトを年末で辞めた。 →計画をしっかりと練れたこと、演習に手をつけられたのは◎
1 月	定期テストの試験	0h	学校の定期テスト地獄に見舞われる。普段授業をあまり聞いていなかったため、夜な夜な授業内容を頭に叩き込む日々が続き、国家総合職の試験を考えている余裕はなかった。
	高熱	0h	原因不明の高熱を発症し、しばらく何もできず、2 週間ほどベットの上で生活をする。今思えば、11 月ごろのタイトなスケジュールのしわ寄せが来たのだと思う。みなさんにおかれては、体調管理と長距離走だと思ってペース配分を十分に考えられたい。 →体調管理が一番大切です！ほんとに！

2月	公開模試 試験勉強を本格化 JBIC のインターンに参加する	12h	公開模試を受験する。経済理論の演習は相当していたので、自信を持って臨めた。非常に良い成績を収めることができたので、気持ちが落ち着くとともに、省庁研究にも力を入れようと決めた。 公開模試を受験して、得意科目と苦手科目が明確になった。具体的には、経済理論や数的処理は大丈夫だとわかり、経済事情などの他の苦手科目に時間を費やすことを決めた。また、本番の得点配分のビジョンもだいぶ固まり、合格できる手ごたえを感じた。 JBIC のインターンに参加し、この職場で働きたいと思った一方で、ここで働いたら中央省庁でしかできないことには携われなくなるのか、どこことなく寂しい感情を覚え、民間就活はここで終了し、国家総合職一本に絞った。 →公開模試で自分の本番の得点ビジョンを描けたのは◎
3月	説明会に参加する アイエルツ受験 公開模試	12h	省庁の説明会に参加し、各省庁の政策内容を吸収し始めた。 2 回目の公開模試を受験し、また良い成績を収められたので、手ごたえが確かな自信へと変わった。苦手分野については引き続き勉強する必要性を感じたが、メンタルケアも大切なため、勉強と精神の安定という両立の感覚を意識し始めた。 また、大学院用にアイエルツを受験。まずまずな結果。 →メンタルのバランスを考えられたのは良かった◎

4月	論文模試 説明会参加 試験延期	8h	論文模試を受験し、相当な実力がついてきていることを実感。 また、この時期、コロナ感染症が蔓延したこともあって、試験が延期になり、モチベーションがダダ下がり。ただ、公務員の試験はいつかやるだろうという自信はあったので、落胆することはなかったが、ほとんど勉強をせずダラダラしてしまった。 →前半飛ばし過ぎず、最後の追い込み期に追い込めるような配分×
5月	説明会参加 暗記科目の叩き込み ボランティア団体のリーダー	5h	オンライン説明会には積極的に参加し、志望省庁を絞っていく。また、短期的に暗記が必要な科目（例えば時事問題や経済事情など）の叩き込みに入る。 ボランティア団体のリーダーを引き受けてしまい、やや試験勉強に集中できなくなるが、いい気分転換にはなった気がする。 →人によると思うが適度に気分転換をしつつ、暗記科目できたのは◎
6月	説明会参加 TOEFL 受験 事前面談会準備	8h	TOEFL を受験し 97 点で目標の 100 点に届かず、撃沈。気持ちを切り替えて、一次試験の苦手分野のしらみつぶしと、事前面談会の準備を急ピッチで両立する。 また、ボランティア団体のリーダーとの並行が厳しく、周囲の周りの助けを求める。 →キャパオーバーしそうだったら、早めに根回しできたのは◎

7月	一次試験 ボランティア団体のイベント 官庁訪問	10h	正直、文章理解が心配だった以外は、自信を持って臨めたし、試験会場にTACの受講生の友人がいらっしまったので、気合が入った。一次試験は特に緊張せず普段以上の力を出し切れた。 その後自己採点をし、基礎能力30点、専門試験28点だったので、二次試験対策はそこまでしなくてもいいかなと感じ、代わりに省庁研究に時間を費やすことにした。 無事、官庁訪問で試験をパスすれば大丈夫との明示をいただき、あとは国家総合職の最終合格を待つのみ。 また、ボランティア団体のイベントもあったため、試験勉強からは一度手を引いて、気分転換をした。
8月	内々定	N/A	二次試験。政策論文はまずまずの手ごたえだったが、面接対策を十分にしなかったため、面接中にパニック状態になり、直後かなり後悔をする。その後は友達とご飯を食べるなど気を紛らわす事で時間を過ごし、迎えた8月23日9:00。恐る恐る合格者発表番号を見ると、自分の番号が。蓋を開けてみれば、目標としていた上位10%合格ができ、涙ながら採用担当に報告。就活終了。 →最後まで手を抜かずに面接対策をしよう！

山内 健輔…「自分の成功を信じる単純な健全性」

時期	活動内容など	具体的行動など
2年生 12月	国土交通省の説明会に初めて参加	官僚のお堅いイメージがぶっ壊れる。国交省で官僚になることを決心する。
2月	TAC・W セミナーに入会	大学の定期試験が終わったその足で、早稲田校に行き、申し込む。
2月～ 3年生 5月	数的処理・憲法のライブ授業	数的処理の難しさに戦慄する。憲法は、非法学部だったため、「判例」や「条文」といった言葉の意味を知るところからスタート。
	1 学年上の国交省の説明会に参加	4 年生の説明会に潜り込み、試験や官庁訪問直前の雰囲気を感じること、やる気を高めた。
6月	民法に大苦戦	正直、何言ってるのか分からなかった。Web フォローで講義を聞き直したり、該当範囲の問題集を次の回までに必ず解くようにして、何とか食らい付いた。
	民間のインターンに参加	勢いで参加した企業から、1 年後内々定をいただくことになるとは……
7月	憲法・数処・民法	勉強のリズムができ、1 日 6～7 時間確保できるように。
	国交省・警察庁の夏インターンに応募	第 1 志望への想いを、いざ文字にしようとするとなかなか難しかった。官庁訪問では、早めに志望動機などを文字にしておこうと痛感。
9月	教養区分＝模試	教養区分を模試代わりに受験。会場の雰囲気から、1 年後の本試験をイメージした。
	夏インターン参加	職員の人格的魅力に強く惹かれ、ここで働きたい！と気持ちを新たにす。
10月～ 1月	専門記述スタート	法律科目の択一と記述の対策を並行。講義や答練を校舎で受けるようにし、勉強のペースを崩さないように心がけた。1 日 7～8 時間は勉強。
2月～ 3月	模試を使い倒す	模試の日から逆算して、勉強計画を立てる。基礎能力：専門択一：記述＝1：3：6 の割合で、1 日 10 時間は勉強

	民間就活開始	勉強時間を確保するため、エントリー数を 2 社に絞る。勉強ばかりの毎日で、民間就活が息抜きにもなっていた。
4 月	試験の延期、民間就活終了	論文模試（第 2 回）の 2 日後に、緊急事態宣言が出される。宣言後、校舎の自習室で勉強するスタイルから、自宅での学習に変更するも、始めは慣れず。5 月に試験が延期となり、その日から逆算して、計画を立てる。前年 6 月にインターンに行った民間の 1 社から内々定をいただく。
5 月	試験の再延期	試験日未定のため、逆算して勉強することができず、やる気の維持に苦労した。しかし、国交省の説明会に参加することで、自分の目標を再確認し、己を奮い立たせ、これまでと同じペースで勉強することができた。
6 月	試験日程決定、専門記述なくなる	最も時間をかけてきた専門記述試験がなくなったため茫然自失となるも、なんとか切り替えて 1 次対策に全力を注ぐ。
	事前面談会	試験対策との兼ね合いもあったが、国交省に行きたい気持ちが強く固まっていたため、国交省のみを訪問することを決める。1 日目、非常に高い評価をいただき内々定を確信。しかし、ホッと一息つく間もなく、その日以降、1 次試験対策に全力を注ぐ。
7 月	1 次試験	運も味方し、自己最高得点で、突破する。
8 月	2 次試験、最終合格発表、内々定	最終合格したことを、国交省の人事の方に報告し、就活が終了。

『秋の使い方』

教養区分一次試験の合格発表も終わり、見事合格された方、残念ながら不合格だった方いらっしゃると思いますが、どちらにせよやるべきことは沢山あるのでこれからの時間をいかに有効に使うかがカギになってくると思います。今回は、LA がどの様に過ごしたか、また、どうすべきだったか、就活が終わった今だからこそ言える話をしていきたいと思います。

【教養一次合格者】文責：尾崎 弘彬

まず、教養一次試験合格おめでとうございます！二次試験の倍率はおよそ二倍です。絶対に合格を勝ち取りましょう。僕たち LA にも教養合格者が二人いるので、全力でサポートさせていただきます。

一方で、企画提案試験の順番や、政策課題討議で同じ班になった人などの運に左右されることがあるのも事実です。不合格になったとしても、ここでの準備は必ず将来国家総合職として働く上で必ず役立つので全力で準備しましょう。

これからの過ごし方としては、極力二次試験対策に時間を割くことをおすすめします。

教養区分は企画提案試験・人物試験・政策課題討議の三種類の試験がありますが、すべてにおいて対人能力が要求されており、客観的に高く評価されることが合格の条件です。

合格のためには、

- ①一次試験に合格した友人を作る→一緒に対策する
- ②教養区分最終合格者の先輩からアドバイスを貰う→客観的な評価(1)
- ③TAC の先生から評価してもらう→客観的な評価(2)
- (④実際の職員の方に評価してもらう→客観的な評価(3))

の三つ（可能な人は四つ）の方法で対策することがおすすめです。

- ① 大学の友人もしくは TAC の友人を見つけるといいとおもいます。個人的にはどちらの友人を優先してもいいとは思いますが、大学なら他の友人が通っている予備校から

の情報も受け取ることができますし、TAC なら模擬政策課題討議などの情報交換が容易にできると思います。また、教養対策で知り合えた仲間は官庁訪問対策等でも非常に有益なものとなりますし、内定後も貴重な友人になります。みんなで協力して対策することをオススメします。

② 大学で国家総合職を目指している人の LINE グループ等あれば、有効に使用してください。ただ、個人的には大学の先輩よりも私たち LA を積極的に活用することをオススメします。LA には先輩から受け継いできたノウハウがありますし、TAC の授業やテキストの使い方をご説明できます。HR だけでなく、内定者アドバイザー相談会等を利用して、客観的評価を得てください。③での、TAC の模擬政策課題討議を有効に使うためにも僕たち先輩を踏み台にしてください(笑)

③ ①②を利用して問題の傾向を把握し自信をつけたら、本番を想定して TAC の先生方から評価していただきましょう。僕も参加しましたが、非常に本番に近い雰囲気で行われ、最後にフィードバックもいただけるので二次対策に非常に有効でした。

④ ※これは相手の職員の方にご迷惑をおかけしてしまうリスクもあるので慎重に行ってください。

実際の職員の方から評価していただくことは、面接練習になるだけでなく、実際に政策立案に携わる方からの生の意見を聞くことができるまたとないチャンスです。もし身近な先輩方で快諾してくださる方がいたら活用してみたらいいかもしれません。

【合格者の二次対策スケジュール】

尾崎の場合

時期	企画提案試験	人物試験	政策課題討議
合格発表前	落ちたと思って何もしてませんでした。		
10/15～	焦って白書読む（三周）	面接カード作り（職員の方から添削）	何もしてませんでした
10/22～	答案づくり		
10/29～		面接練習（友人）	過去問でディスカッション（友人）
11/5～	質疑応答対策（TAC） 答案のブラッシュアップ	面接練習（友人・TAC・職員）	省庁開催のグルディスに参加 & 想定問題（友人）
11/13,14	教養二次試験		
11/14～	省庁説明会参加		

中村の場合

時期	企画提案試験	人物試験	政策課題討議試験
合格発表前	二次対策はせず、他の試験勉強をしていた。		
10/15～	TAC の一次合格者ホームルームに参加し、二次試験の概要や対策方法について教えていただく。		
	白書を一通り読む。	面接カードに書く内容を練りはじめる。	討議の練習はしなかったが、今関心が高まっている時事問題・政策を調べていた。
10/22～	白書で挙げられている課題に対する自分の考えをまとめる。	実際に書いて、添削してもらおう。(家族、TAC の LA さんなど)自分なりに納得した文章が書けるまで 10 回くらい書き直した。	討議練習(TAC の友人と)/ 新聞や白書などを読んで、それに対する自分の考えなどを簡単にメモしたりしていた。
10/29～			
11/5～			
11/13,14	教養二次試験		
11/14～	他の試験勉強＆説明会参加		

教養で合格した二人はこのようなスケジュールで対策していました。

今日のタイミングでは二人ともいわゆる最後の大詰め状態ですが、すべての科目に共通して言えるのは、「どこまでやっても終わりが無い」という事です。残り約二週間弱ですが、倍率二倍だからと気を抜くことなく全力で頑張りましょう！（僕はこの時期少し気を抜いていて、直前に結構焦ったので二の舞にならないように気を付けてください。）

【春試験受験者】 文責：守安 剛崇（経済区分）

初めに、教養区分を受験した方は、お疲れ様でした。うまくいった方、そうでない方どちらもいらっしゃると思いますが、教養区分の試験を無駄にせず、次に生かすことが非常に大切になってきます。教養区分の試験を受けられなかった方は、ぜひ一度過去問を、本番と同じ時間かつ同じ時間帯で解いてみてください。そこで、以下の6つを考えてみてください。

- ① 基礎能力試験の手ごたえはどうだったか？
- ② 政策論文（総合論文）の手ごたえはどうだったか？
- ③ 試験会場の雰囲気はどうだったか？
- ④ 試験全体を通して集中力は持続したか？
- ⑤ 時間配分はどうだったか？
- ⑥ 教養区分の受験を通して、本試験の目標点数を掲げる！

それでは、細かく見ていきましょう。

① 基礎能力試験の手ごたえはどうだったか？

科目	教養出題数	正答数	春出題数	目標点数	頑張り度合い
文章理解	8 問		11 問		
数的処理	16 問		16 問		
自然科学	10 問		3 問		
人文科学	10 問		4 問		
社会科学	10 問		3 問		
時事問題	0 問		3 問		

例) 守安（教養一次不合格・経済区分合格）の場合

科目	教養出題数	正答数	春出題数	目標点数	春正答数	頑張り度合い
文章理解	8 問		11 問	10 点	9 点	かなり頑張る
数的処理	16 問	8 点	16 問	12 点	13 点	現状維持
自然科学	10 問		3 問	1 点	2 点	諦める
人文科学	10 問		4 問	1 点	2 点	諦める
社会科学	10 問		3 問	2 点	2 点	経済だけとる
時事問題	0 問		3 問	2 点	2 点	短期集中

② 政策論文の手ごたえはどうだったか？

政策論文の点数が発表されない人もいますが、ご自身の政策論文の手ごたえを振り返ってみてください。十分な論文を書くための周辺知識は足りていましたか？時間は多かったですか、それとも足りなかったですか？

論文を書くための必要な知識が備わっていると感じた方は、そのまま対策は特にしなくて大丈夫だと思います。一方で、社会・経済・国際情勢などに関する周辺知識が不足していると感じた方は、日頃から新聞やニュースを見て、情報を蓄えておくことが大切です。これらの知識は、直前に詰め込むものではなく、今までの人生で蓄積された教養がものをいいます。最低でも、新聞・ニュースは目を通すようにしましょう。おすすめの媒体は『日本経済新聞』です。ちょっとお高いですが、

時間が足りていないと感じた方は、時間配分を意識して書いてみましょう！

私の場合は、日本社会を取り巻く環境についての理解が不足していると感じ、日本経済新聞に毎日目を通すことにしていました。一方で、論文の書き方や伝え方は得意だったので、特に論文を書く練習はしませんでした。

このように、ご自身の状況に照らし合わせて、論文対策を考えてみてください！

③ 試験会場の雰囲気はどうだったか？

試験会場の雰囲気はどうでしたか？何か独特なものを感じたのではないのでしょうか？例えば、早く行っても待たされたり、物々しい雰囲気だなと感じたり。

教養区分の試験で感じた試験会場の雰囲気を、なるべく忘れないうちに書き留めておきましょう。

最終的に、ベストコンディションで春試験を迎えるためには、今までのみなさんの努力に加えて、当日の周辺環境がものを言うと思っています。

なるべく、低減できるリスクはあらかじめ予防しておき、本番良いコンディションで迎えらるるようにならう。

私の場合は、早く行き過ぎて会場で待たされるという事態が発生しました。重い荷物を背負いながら突っ立っているだけで、体力が消耗されたので、春試験本番の日は、ある程度余裕を持って行くものの、会場に入るのは直前になってからにしようと作戦を立てて、無事体力を消耗することなく本番を迎えることができました。

公務員試験は独特な雰囲気があります。みなさんが努力した成果を遺憾なく発揮するためにも、つまらないことで無駄にならぬよう、できる対応策を考えておきましょう！

④ 試験全体を通して集中力は持続したか？

意外と長く感じましたか？それとも短く感じましたか？③の雰囲気とリンクするのですが、当日最高のパフォーマンスを発揮するためにも、集中力を持続させることは非常に大切です。もし、教養区分の試験で、昼食後眠くなってしまったのならば、お昼ご飯の量を減らすことで調節できるでしょう。逆に、脳がパンパンになって集中できなくなったのならば、甘いお菓子でも食べて、脳を活性化させることもできるでしょう。集中力が持続しなかった方は、なぜか考えて、対応策を模索し、日頃から試してみると良いと思います。

また、試験時間に合わせて勉強することも効果的だと思います。春試験は、午前中に専門試験、午後に基礎能力試験を行います（来年も変わっていなければ）。そこで、普段からも試験と同じ時間に同じ科目を勉強するというのを試してみてもいいかもしれません。

私の場合、昼食後に眠くなっちゃいます（笑）ですが、文章理解は非常に苦手でしたし、数的処理は得意科目で稼ぎたかったため、フルで頭を働かせなければ、望む点数は取れませんでした。そのため、普段から、昼ご飯を少量に抑えて、ついでに甘いものを食べて（ただ甘いものを食べたただけかもしれませんが、笑）試験時間と同じ時間に数的処理と文章理解を解いていました。最初は眠くなって、途中で投げ出していたのですが、徐々に集中力が持続するようになり、本番では落ち着いて解くことができたかなと思います。

⑤ 時間配分はどうだったか？

自然科学・人文科学・社会科学は無視して構いませんが、文章理解と数的処理の時間配分はどうだったでしょうか？短く感じた方も多いのではないのでしょうか？

短く感じた方へ、コツは主に2つあると考えています。1つ目は、毎日ストップウォッチを持参して（携帯のでももちろん構いませんが、集中力が切れるのでおすすめはしません）、文章理解や数的処理1問にかかる時間を常日頃から計測して、人勸感覚を意識することが大切だと思います。2つ目は、自分ができる問題とできない問題を判別する力を身につけるということです。もちろん、数的処理全部解ききる方はそのまま構いません。しかし、なかなか全部パーフェクトに解ける人はいないのではないかなと思います（私の友人は満点でしたが、）。そこで、自分がこの問題を解けるか解けないかを、時間を費やす前に分かるように、日頃から意識して演習問題に取り組まれると良いと思います。

私の場合は、数的処理は1問8分以内、文章理解は5分以内に解ききるように、問題演習していました。また、数的処理に関しては、確率と数的推理などが得意だったため、そこは確実に拾うようにしていました。一方で、図形が苦手だったため、図形やパズル系は後回しにしていました。加えて、いくら得意分野でも、解いてみると非常に時間がかかるものがあります。例えば、場合分けが非常に多いようなものです。その時は、これが難しいのですが、この先に進んで答えが導けそうか、導けなさそうか判断して、無理そうだったら勇気をもって別の問題に進むことも大切です。この判断力が意外と重要になります。

⑥ 教養区分の受験を通して、本試験の目標点数を掲げる

教養区分の試験を通して、文章理解・数的処理・自然科学・人文科学・社会科学の見通しはついたと思います。この時点で、春試験の基礎能力試験において、どの分野で何点とるか、目標を立ててみるのが良いかなと思います。①の表を参考にしてみてください。目標点数と、教養区分の点数に乖離がある場合は、その科目を重点的に勉強しなければなりませんし、逆にそこまで乖離が無い場合は、時間を割くのはもったいないです。ただ、留意しなければならないのが、その科目を勉強したとして、得点が伸びるかどうか、ということです。

私の場合は、数的処理に手ごたえを感じたので、勘が鈍らないように後は継続的に演習をするだけ、という方針にしました。一方で、自然科学と人文科学は全くと言っていいほど駄目だったのですが、範囲が広すぎますし、センターを受験していないこともあって、全く高校でも習っていなかったため、勉強すると膨大な時間がかかると判断し、潔く諦めました。この判断が私の中では非常によく、無駄な時間を割かずに、他の科目に集中できたかなと思います。このように、現状・理想・実現可能性という3つの観点から目標を立ててみてください！

【春試験受験者の 11 月のスケジュール】

沖 皐津紀…「試験対策と面接対策の両立の大切さ」

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
10月最終週～ 11月第1週	数的処理を毎日 10 題ずつやろうと決めたが 1 週間位で挫折。毎日平均 5 題ずつ、時間を計らずにやっていた。	民法の全講義を受講し終わり、行政法の講義の受講を始める。授業後にその範囲は問題集で復習。	特になし
11月第2週			特になし
11月第3週	傾斜配点を言い訳に専門択一の勉強に集中してほとんど手をつけられず。	民法演習の結果が悪かったことに焦り、問題集をほぼ毎日（大体 5 ページずつ）解く。	特になし
11月第4週			特になし
11月最終週		受講後放置していた憲法の復習も始める	特になし
反省点	もっと勉強した方が年明け焦らずに済んだかも	問題集は受講したらその都度解くべきだった	特になし

鈴木 悠花…「過信しすぎず、自分を信じる。」

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
10 月最終週～ 11 月第 1 週	数処の資料と判断推理を 1 日 3 問のペース。	国際法受講，政治学問題集 2 周目，国際関係・行政学問題集 1 周目。	政治学・国際関係の記述講義を受講。
11 月第 2 週			
11 月第 3 週			
11 月第 4 週	数処まんべんなく。文章理解にも手を付け始める。	記述の講義を受けて国際関係ができていないことを痛感。国際関係メインにシフト。	
11 月最終週		国際法受講終了し演習に移行。その他科目は引き続き問題集。	
反省点（あれば）	大学の授業が忙しくて試験勉強をしていたがあまり身になっていなかったように感じる。		

守安 剛崇 …「ペース配分を戦略だてて考えよう」

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
10 月最終週～ 11 月第 1 週	教養区分を受験後 自然・人文科学 を捨てる決意 数的処理 1h 文章理解 30m の勉強	経済理論・統計学の 授業の履修+演習 最低でも 経済理論は 12 点 統計計量は 4 点 の目標を掲げる	特になし
11 月第 2 週			特になし
11 月第 3 週			特になし
11 月第 4 週			特になし
11 月最終週	ゼミの韓国合宿担当で勉強時間ほぼ0		危機意識

山内 健輔…「自分の成功を信じる単純な健全性」

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
10月最終週 11月第1週	11/24の模試1週間前から、ぼちぼち対策しようと思っていたため、何もせず。	民法は、過去問（1周目）を解き終え、演習がスタート。行政法は、講義を受けつつ、該当範囲の過去問を解く。	憲法答練の受講と復習。憲法記述に、得意意識が芽生える。
11月第2週			
11月第3週	社会・人文科学は、点を取りに行く科目だけを勉強。数的処理と文章理解は、交互に毎日30分程度。	民法は、演習の復習。行政法は、同上。刑法の講義を、Webで受け始める。	民法記述の講義が始まり、全く「書けない」ことに茫然。問題文を見て論点が思いつくレベルを目指して、1次テキストやミニ答練の問題を読み込む。
11月第4週		行政法の講義とその過去問。	
11月最終週	模試受験。数処と文章が思いのほか点が取れた。	行政法は、過去問（1周目）を解き終え、演習がスタート。	
1か月を通して	民法・行政法の演習や基礎能力模試から、逆算して勉強の計画を立てたことで、モチベーションを維持することができ、成績も良かった。この時期から、合格のイメージが固まり始める。		

【今後の告知】

LA 在籍相談

内定者アドバイザー（LA）は皆様のご相談をお待ちしています！

LA が渋谷校・早稲田校に在席している時間に、気軽に呼び出してください。在席表はマイページから確認できます。深刻な相談，息抜き，愚痴，何でも結構です！

11月HR

「勝負の冬！合格者はこう過ごす！」

11/24（火）17：00～18：00 渋谷校

11/25（水）17：00～18：00 早稲田校

11/26（木）18：30～19：30 オンライン

予約不要，入退室自由です！

以下のアンケートにご協力ください！

